

違憲・違法な国民監視活動やめよ 党県委員会が自衛隊、県に申し入れ



自衛隊に申し入れる後藤県委員長、佐藤まさゆき参院

十三日、日本共産党山形県委員会は、後藤太刀味委員長、佐藤まさゆき参院選挙区候補、渡辺ゆり子県議、今野孝東根市議が、神町の陸上自衛隊第六師団の角南俊彦師団長に「自衛隊による違憲・違法な国民監視活動の中止」を求める申し入れを行いました。

「十三日、日本共産党山形県委員会は、後藤太刀味委員長、佐藤まさゆき参院選挙区候補、渡辺ゆり子県議、今野孝東根市議が、神町の陸上自衛隊第六師団の角南俊彦師団長に「自衛隊による違憲・違法な国民監視活動の中止」を求める申し入れを行いました。」と答えました。同日、県に対しても、政府と自衛隊に国民監視活動の中止と全容解明を求めるよう申し入れました。

日本共産党の志位和夫委員長が、記者会見で発表した「自衛隊の情報保全隊が国民監視活動を行っていた」資料は、驚くべき内容となっていました。イラク派兵に反対する運動、平和集会、消費税や医療に関わる集会、文化人の講演や発言、通常の取材の記者活動などに至るまで、個人名も含めて情報収集がされています。いざとなったらこの情報で国民を糾弾する。もの言えぬ社会へ逆行させようという意図を感じざるを得ません。国民監視活動やめよの声を広げましょう。



2007年6月24日
第5号
発行
日本共産党県議会議員
渡辺ゆり子
<連絡先>
日本共産党県議団執務室
電話 023-630-3241
自宅:山形市青田2-10-5
電話 023-642-2365

コムスン不正事件から見えてくるもの 安心してできる介護制度へ運動を



十二日に開かれた議会運営委員会で藤田穰・健康福祉部長より「(株)コムスンの不正事件への対応について」報告がありました。厚生労働省よりコムスンの全事業所について指定、更新をしない旨の通知がきていること。県内16カ所の事業所が更新不可能となり、のべ約一三〇〇人の利用者、約一八〇人の従業員が影響を受けるという説明がありました(山形市内は六カ所、約五四〇人ほどの利用者と言われています)。更新時期は、平成20年四月一日から平成23年まで順次到来し、他事業者への利用移行を図ることになります。県は、コムスンの指導、相談窓口の設置、市町村への協力依頼など利用者へのサービスクラス確保にとめるとしています。

介護保険導入時から心配されていたことが現実となってきました。「民間参入により質の良いサービスが選択できるよるうになる」と進められてきましたが、実際はどうでしょうか? 低い介護報酬のもとで、献身的に努力し

「戦前のような圧力、脅かしは許せない!」六月十四日に緊急に開かれた「自衛隊の違憲・違法な国民監視活動」抗議集会には、自衛隊のリストに載っていた人も含め、たくさんの方が会場につめかけ、次々と抗議の声を上げました。私は司会役をつとめました。映画「幸せの黄色いハンカチ」にちなみ、ダイラク派兵を見送る運動について取材された、山田洋次監督が描いたのは夫婦の愛情だから見間違い」と答えたことまで、反自衛隊活動の対象にされました。ピースウオークを監視されている事業者がいる一方で、不正請求を行ってごまかそうとする一部事業者が存在します。一番影響を受けるのは、利用者や家族、職場で働く職員です。国や行

紙智子のかけあるき



れた高校生、フリージャーナリスト、弁護士、宗教者など、次々に発言し、中止させる強い決意が語られました。何のために、自衛隊は盗み撮りなどやっていたのか? 国民を弾圧するためではないのか。自衛隊の行動の異常さに怒りを禁じえませんが。国民のプライバシー、肖像権、表現の自由などの権利を侵害しているだけではありません、国民の平和に生きる生存権が侵害されているということを認識し、断じて許さないうたたいを広げましょう。

政の責任を後退させてきた制度矛盾のあらわれです。安心して暮らせる制度改善の取り組みを、今後一層、議会内外で広げたいと考えています。